

令和3年度
入学案内



21世紀を担う
歯科衛生士を目指して

鳥取県立歯科衛生専門学校



鳥取県立歯科衛生専門学校は、幅広い教養・専門科目の修得及び臨地・臨床実習の充実を図り、自ら創造する能力・思いやりと社会性を持った歯科医療の担い手としての歯科衛生士の育成を目指します。

学校長の挨拶



校長 宮本 則明

本校は、昭和38年に鳥取県民の口腔衛生の普及の一翼を担う歯科衛生士の養成を目的として設立されました。開校当初は鳥取県立歯科衛生士学院という修業年限1年の養成所でしたが、昭和57年の現在地への新築移転と同時に修業年限を2年とし、翌年には校名を鳥取県立歯科衛生専門学校と改め、さらに技術の進歩に対応できる人材を育成するため平成17年4月より3年制に移行して、今日まで数多くの歯科衛生士を育成してまいりました。

平成25年に策定された「鳥取県歯と口腔の健康づくり条例」に基づき、県内では、歯科衛生士を中心とした予防歯科の取り組みが幅広く展開され、県民の健康づくりの一助となっております。

また、少子高齢化が進み、継続的指導管理が必要な方が増加する中であって、慢性疾患の治療に対する専門性が求められるなど、歯科衛生士に対するニーズも高度化、多様化してきており、本校としましても、専門科目や臨地・臨床実習の充実に努め、ニーズに合った知識・技術の修得に努めてまいります。

そして、学校生活や実習を通して、絶えず相手の立場で考え、行動することができる人間性豊かな歯科衛生士の育成を目指してまいります。



本校の沿革

- 昭和38年 「鳥取県立歯科衛生士学院」を鳥取県歯科福祉会館に設置
修業年限1年 入学定員20名
- 昭和47年 入学定員30名に変更
- 昭和57年 鳥取県歯科医師会館新築移転により、新会館内に移転
修業年限を2年に移行
入学定員36名に変更
- 昭和58年 校名を「鳥取県立歯科衛生専門学校」に改称
- 平成17年 修業年限を3年に移行

国家資格を有する歯科医療・保健分野の スペシャリストをめざして!!

歯科衛生士 とは

専門課程を習得後、国家試験に合格して厚生労働大臣免許を取得し、
歯科医療の一翼を担う専門職です。
歯と口腔の健康を維持管理し、一人一人にあった口腔ケアをしながら、
生涯を通じて全身の健康づくりに貢献します。

歯科衛生士の仕事内容

歯科予防処置

歯及び口腔の健康を守るために患者さんの
歯垢、歯石を取り除いたり、薬物塗布や予防
充填を行い、歯周疾患やむし歯を予防します。



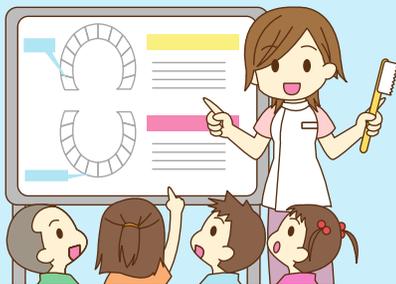
歯科診療補助

歯科診療をスムーズに進めるための補助や
歯科医師の指示での診療をトータル的に補助
します。



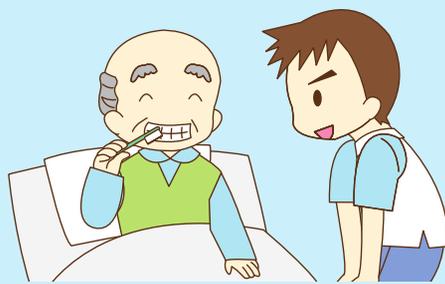
歯科保健指導

歯科保健に必要な歯みがきや食生活指導を
行い、口腔の健康をサポートします。



訪問歯科保健歯科診療

要介護者の歯科保健サービスや歯科医師と
ともに在宅での歯科診療を行います。



就職状況

歯科衛生士は、社会情勢に関係なく求めら
れている安定した職業です。歯科衛生士の数
はまだ不足しており、本校には県内外を
問わず数多い求人の申込みがあり、令和元
年度の卒業生の就職実績は100%です。

卒業年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
卒業生	19名	19名	25名
県内就職者数	13名	13名	16名
県外就職者数	6名	6名	9名
就職率	100%	100%	100%



カリキュラム一覧

21世紀の日本社会は、これまでに経験したことがない高齢化を迎え、歯科医療に対するニーズも高度化・多様化してきています。社会のニーズに対応できる感性豊かな、心優しい歯科衛生士育成のために、幅広い科目で教育の充実を図ります。

基礎分野

- 人文科学・社会科学
- 自然科学
- 外国語

専門基礎分野

- 解剖学
- 生理学
- 病理学
- 微生物学
- 薬理学
- 口腔衛生学
- 衛生学・公衆衛生学
- 衛生行政・社会福祉

専門分野

- 歯科衛生士概論・歯科医療倫理学
- 歯科臨床概論
- 歯科補綴学
- 小児歯科学
- 有病者歯科学・障がい者歯科学・高齢者歯科学
- 歯科口腔放射線学
- 歯科予防処置
- 歯科保健指導
- 歯科保存学
- 口腔外科学
- 歯科矯正学
- 栄養指導学
- 歯科診療補助
- 臨地・臨床実習

選択必修分野

- 行動科学
- コンピュータ学
- 隣接医学
- 手話
- 体育



▲実習風景



▲授業風景



▲授業風景



3年制ならではの特徴

有病者・障がい者・高齢者歯科学

有病者の歯科治療は、治療時、投薬、感染予防において多くの注意すべき事項があります。また近年高齢者や要介護者に対する優しい歯科医療サービスが求められています。そのため、歯科衛生士における有病者、障がい者および高齢者に対する医学知識、患者への対応、注意点等について教育を行います。

行動科学

人間の行動を科学的に捉え、歯科医療における行動科学の意義を学び、保健医療におけるコミュニケーション、患者と医療従事者とのコミュニケーションとその実際などについて学びます。内容としては、患者中心の歯科医療を実践するための基本的態度、技術、知識を修得し、特にプラークコントロール指導や歯科治療を怖がられる患者へのアプローチ方法などを教育します。

手話

聴覚、言語機能に障がいをもつ人の歯科診療の際、スムーズなコミュニケーションをとるためには、臨床現場で役に立つ手話教育が必要です。内容としては、聴覚・言語機能に障がいをもつ人の協力を得、実際に実技・応用に重点を置いた効果的な手話教育を行います。

介護技術学

有病者、障がい者、高齢者など、様々な患者さんに対応できる様、介護技術学を学びます。

キャンパスライフ

4月

- ◆入学式
- ◆臨地・臨床実習(3年)

5月

6月

- ◆課外授業
- ◆保育園幼稚園実習(3年)

7月

- ◆前期試験(2年)
- ◆夏期休暇

8月

9月

- ◆前期試験(1年)
- ◆研修旅行(1年)

10月

11月

- ◆宣誓式(2年)
- ◆後期試験(2年)

12月

- ◆総合試験(3年)
- ◆臨地・臨床実習(3年)
- ◆冬期休暇

1月

- ◆国家試験対策講義(3年)

2月

3月

- ◆歯科衛生士国家試験(3年)
- ◆卒業式
- ◆後期試験(1年)
- ◆春期休暇

同じ目標を持ち励ましあい支えあっていく中で、仲間がかけがえのない存在となっていきます。共に進もう、希望に満ちた明日へ向かって!!



▲保育園・幼稚園実習



▲研修旅行



▲卒業式



▲入学式



▲宣誓式



▶実習風景

在校生の言葉

3年 草刈 結衣



私は子供の頃、矯正をしていたこともあり、歯科に興味を持ち入学しました。初めは慣れない専門用語ばかりで不安でいっぱいでしたが、授業で学んでいくうちに自然と使いこなせるよう

になりました。

2年生の後期から歯科医院や総合病院で臨床実習が始まり、悩んだり、落ち込んだりすることもあります。クラスの仲間や先生方の支えがあり日々頑張ることができています。

また、この学校には手話の授業があり、実際に聴覚障害の患者さんがこられた時、授業で習ったことを活かすことが出来、スムーズなコミュニケーションが取れました。

クラスの仲間と支え合いながら、来年の国家試験は全員合格を目指し、気を引き締めて精一杯頑張っていこうと思います。

3年 荒瀬 圭華



私は大学卒業後、一般企業で働いていました。今後の人生において資格がないことに不安を抱き、歯科医院で歯科助手をしていた母に相談したところ、歯科衛生士になることをすすめられま

した。前の仕事で、介護予防事業を担当していたこともあり、口腔衛生について興味があったので、すぐに学校に行くことを決めました。

入学してすぐは知らない土地に、知らないクラスメイトで不安ばかりでしたが、同じ志を持つ者同士として共に学んでいく間に打ち解けていきました。テストや実習、アルバイトや家事との両立、大変なこともたくさんあり、挫折しそうになったこともありますが、クラス全員で支えあい、歯科衛生士という夢を叶える為、来年の春には全員で国家試験に合格し、先生方や家族に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

令和3年度鳥取県立歯科衛生専門学校入学生募集要項

1 募集人員 36名

2 修業年限 3年

3 推薦入学 (18名程度)

(1) 推薦基準及び条件

- ①鳥取県内の高等学校に在学し、令和3年3月卒業見込み(同校の令和2年度中の卒業を含む。)であること。
または、広域通信制高等学校に在学し、かつ鳥取県内において学校教育法(昭和22年法律第26号)第55条に基づく指定技能教育施設である専修学校に在学し、令和3年3月卒業見込みであること。
- ②高等学校3か年の学業成績の平均が3.4以上であること。
- ③歯科衛生士になろうとする強い意志をもち、人物が優れており、学校長が責任をもって特に推薦できること。
- ④本校への就学を確約できること。

(2) 提出書類

- ①入学願書(本校指定のもの) 1通
- ②高等学校卒業見込証明書または高等学校卒業証明書 1通
(調査書に卒業見込であることが記載されている場合には、調査書をもって代えることができる。)
- ③高等学校長の推薦書(本校指定のもの) 1通
- ④調査書(学校長作成のもの・開封無効) 1通
- ⑤写真(出願前3か月以内に撮影したもの) 2葉
脱帽・正面・上半身 縦4cm×横3cm
(注)裏面に氏名を記入し、入学願書及び受験票に貼付しておくこと。
- ⑥志願者調書(本校指定のもの) 1通
- ⑦受験票(氏名を記入しておくこと) 1通
- ⑧受験料2,600円(鳥取県収入証紙を入学願書に貼付する。)
- ⑨受験票送付用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分(簡易書留料を含む。)を貼付しておくこと〕
- ⑩試験結果通知用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分(簡易書留料を含む。)を貼付しておくこと〕

(3) 提出方法

(2)に記載する書類を整え、本校指定の封筒に住所、氏名を明記し、直接持参または郵送(簡易書留郵便)とすること。

(注)受験票は試験日の7日前に発送する。試験の3日前までに受験票が届かない場合は、本校に連絡すること。

(4) 願書受付期間 令和2年9月28日(月)から令和2年10月9日(金)まで(当日消印有効)

(5) 試験日 令和2年11月5日(木)

(6) 選考方法 提出された書類、作文及び面接試験により選考する。

受付	8:30～8:45
オリエンテーション	8:45～9:00
作文試験	9:00～9:50
面接試験	10:30～

(7) 合格発表 令和2年11月17日(火)午後1時

本学校玄関前及び本校ホームページに掲示するとともに、本人及び推薦学校長に通知する。

電話の問い合わせには応じない。

4 社会人入学 (3名程度)

(1) 入学資格

令和3年4月1日現在、社会人として2年以上の就業経験を有し、35歳以下で、学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条に規定する者。

(2) 提出書類

①入学願書（本校指定のもの） 1通

②高等学校卒業証明書 1通

③調査書（学校長作成のもの・開封無効） 1通

または成績証明書か単位修得証明書（高等学校卒業後5年を経過した者）

④写真（出願前3か月以内に撮影したもの） 2葉

脱帽・正面・上半身 縦4cm×横3cm

（注）裏面に氏名を記入し、入学願書及び受験票に貼付しておくこと。

⑤志願者調書（本校指定のもの） 1通

⑥受験票（氏名を記入しておくこと） 1通

⑦受験料2,600円（鳥取県収入証紙を入学願書に貼付する。）

⑧受験票送付用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分（簡易書留料を含む。）を貼付しておくこと〕

(3) 提出方法

(2)に記載する書類を整え、本校指定の封筒に住所、氏名を明記し、直接持参または郵送（簡易書留郵便）とすること。

（注）受験票は試験日の7日前に発送する。試験の3日前までに受験票が届かない場合は、本校に連絡すること。

(4) 願書受付期間 令和2年9月28日(月)から令和2年10月9日(金)まで（当日消印有効）

(5) 試験日 令和2年11月5日(木)

(6) 選考方法 提出された書類、作文及び面接試験により選考する。

受 付	8:30～8:45
オリエンテーション	8:45～9:00
作文試験	9:00～9:50
面接試験	10:30～

(7) 合格発表 令和2年11月17日(火)午後1時

本学校玄関前及び本校ホームページに掲載するとともに、合格者のみ本人宛に通知する。

電話の問い合わせには応じない。

5 一般入学

(1) 入学資格 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条に規定する者。

(2) 提出書類

- ①入学願書（本校指定のもの） 1通
- ②入学資格を有する者であることを証明する書類 1通
〔例：高等学校卒業見込証明書（調査書に卒業見込であることが記載されている場合には、調査書をもって代えることができる。）、高等学校卒業証明書〕
- ③調査書（学校長作成のもの・開封無効） 1通
または成績証明書か単位修得証明書（高等学校卒業後5年を経過した者）
- ④写真（出願前3か月以内に撮影したもの） 2葉
脱帽・正面・上半身 縦4cm×横3cm
(注)裏面に氏名を記入し、入学願書及び受験票に貼付しておくこと。
- ⑤志願者調書（本校指定のもの） 1通
- ⑥受験票（氏名を記入しておくこと） 1通
- ⑦受験料2,600円（鳥取県収入証紙を入学願書に貼付する。）
- ⑧受験票送付用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分（簡易書留料を含む。）を貼付しておくこと〕
- ⑨試験結果通知用封筒〔住所、氏名を記入し、切手404円分（簡易書留料を含む。）を貼付しておくこと〕

(3) 提出方法

(2) に記載する書類を整え、本校指定の封筒に住所、氏名を明記し、直接持参または郵送（簡易書留郵便）とすること。

(注) 受験票は試験日の7日前に発送する。試験の3日前までに受験票が届かない場合は、本校に連絡すること。

(4) 願書受付期間 令和2年12月7日(月)から令和3年1月5日(火)まで（当日消印有効）

(5) 試験日 令和3年1月28日(木)

(6) 試験科目 学科試験 国語総合（古典を除く）、コミュニケーション英語Ⅰ、面接試験

(7) 選考方法 学科試験及び面接試験の結果により選考する。

受付	9:00～ 9:15
オリエンテーション	9:15～ 9:30
学科試験（国語総合）	9:30～10:50
学科試験（コミュニケーション英語Ⅰ）	11:00～12:20
休憩	12:20～13:00
面接試験	13:00～

(8) 合格発表 令和3年2月5日(金)午後1時

本学校玄関前及び本校ホームページに掲示するとともに、合格者のみ本人宛に通知する。

電話の問い合わせには応じない。

6 再募集入学 (一般入学者決定後に募集定員に達していない場合のみ実施)

- (1) 入学資格 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条に規定する者。
(2) 提出書類 一般入学に準じる。
(3) 提出方法 一般入学に準じる。
(4) 願書受付期間 令和3年2月19日(金)から令和3年3月1日(月)まで(当日消印有効)
(5) 試験日 令和3年3月11日(木)
(6) 試験科目 学科試験 国語総合(古典を除く)、コミュニケーション英語I、面接試験
(7) 選考方法 学科試験及び面接試験の結果により選考する。

受付	9:00~ 9:15
オリエンテーション	9:15~ 9:30
学科試験(国語総合)	9:30~10:50
学科試験(コミュニケーション英語I)	11:00~12:20
休憩	12:20~13:00
面接試験	13:00~

- (8) 合格発表 令和3年3月17日(水)午後1時
本学校玄関前及び本校ホームページに掲示するとともに、合格者のみ本人宛に通知する。
電話の問い合わせには応じない。

7 入学試験会場 本校

8 入学試験結果の個人情報の開示 合格発表の日から1か月間、口頭により個人情報の開示請求ができる。

- ①請求できる者 受験者本人
②本人確認 受験票
③開示内容 科目別得点、総得点及び順位
④請求場所 本校事務室

9 入学式 令和3年4月上旬

◆参考事項

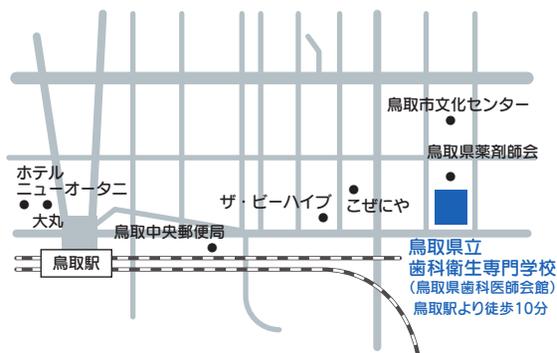
- 1 通学 全員通学(寮なし)
2 学費等

卒業年度	1年次	2年次	3年次
入学料	5,550円	—	—
授業料	262,800円	262,800円	262,800円
後援会料	20,000円	20,000円	20,000円
その他 (教科書、実習用具、被服等)	約250,000円	約160,000円	約90,000円

※但し、上記金額については変更の可能性がある。

3 その他

- 入学願書等の用紙について郵送希望者の場合は、返信用切手(250円分)を同封し、本校に請求してください。
○詳細については、本校へ問い合わせてください。



鳥取県立歯科衛生専門学校

〒680-0841 鳥取市吉方温泉3丁目751-5
TEL 0857-23-2621 FAX 0857-23-5584

E-mail : kenshi@ttrda.jp

URL : <http://www.ttrda.jp/>
